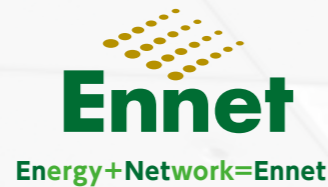


環 境 報 告 書

株式会社エネット  
2017





## エネットは、エネルギー+ITで新しい価値を生み出します

エネットは、自社所有の発電所および工場などの電気を全国から調達し、電力会社の送電網を利用して、お客さまに供給する新電力です。

エネルギーとITを組み合わせて、エネルギーの新たな価値を創造し、エネルギー社会の未来を切り拓いていきます。

### 社長メッセージ

2011年3月に発生した東日本大震災を契機に集中型電源の脆弱性が指摘され、分散型の太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱など再生可能エネルギーの活用が脚光を浴びることになりました。こうした再生可能エネルギーなどの環境負荷の低い電気を買いたいというお客さまの声は日増しに大きくなっています。

また2016年から、電力全面自由化が実現し、一般家庭のお客さまも、電気を購入する事業者を自由に選べるようになるなど、電力事業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。

エネットは、環境負荷の低いLNG(液化天然ガス)発電所の電気を中心に全国200箇所以上の発電所を組み合わせることで電気を供給しています。

おかげさまで、今では3万6000件以上のお客さまの施設に電気をお届けし、新電力の中ではトップシェアを持っています。社名であるエネット(Ennet)は、エネルギー(Energy)とIT(Network)を組み合わせ、「エネルギーの新たな価値を創造する」というコンセプトを表したものです。

2017年度よりAIを活用した新たな省エネサービス「Ennet eye」を本格展開致します。本サービスのご提供を通じ、お客さまの企業単位の省エネ・環境負荷低減を強力にサポート致します。

これからもエネットは、電気とITを組み合わせたスマートサービスを提供することによって、①お客さまメリットの向上 ②省エネルギーの促進 ③安定供給への貢献を推進するとともに、エネルギーの新たな価値創造によって社会に貢献してまいります。

代表取締役 川越 祐司

### 企業概要

|       |  |
|-------|--|
| 社名    | 株式会社エネット(英文名:ENNET Corporation)                                  |
| 設立    | 2000(平成12)年7月7日  |
| 資本金   | 63億円   |
| 共同出資社 | 株式会社NTT ファシリティーズ 東京ガス株式会社 大阪ガス株式会社                               |
| 所在地   | 本社:東京都港区芝公園二丁目6番3号 芝公園フロントタワー 19F<br>西日本事業本部:大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号 |
| 電話番号  | 0120-2233-79(本社・西日本事業本部共通)                                       |
| 事業内容  | ・電力売買事業<br>・発電事業   |

## 『新電力』のリーディングカンパニーとして

エネットは、株主の安定した資本基盤を背景に、高度な電源オペレーション、お客さま規模拡大を通じて、新電力ではトップシェアを堅持しています。

また業界をリードする立場から、高効率の天然ガス発電比率を高めることでCO<sub>2</sub>の排出量削減に努めるとともに、RPS(新エネルギー等電気)の調達を通じて、環境負荷を抑えながら安定した電力の供給に努めています。



※資源エネルギー庁・電力調査統計より

### エネットの取り組み

新電力のリーディングカンパニーとして低炭素社会実行計画に取り組んでいます。

#### 低炭素社会実行計画の策定

電気事業者42社<sup>※1</sup>は、電気事業低炭素協議会<sup>※2</sup>を設立し、「電気事業における低炭素社会実行計画」を策定するとともに、それぞれの事業形態に応じた取り組みを結集し、低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。

※1 2018年3月時点

※2 電気事業低炭素社会協議会ホームページ <https://e-lcs.jp/>

#### エネットにおける主な取り組み

- ① 再生可能エネルギーの活用を図る
- ② 火力発電の高効率化等に努める
- ③ 低炭素社会に資するお客さま省エネ・省CO<sub>2</sub>サービスの提供に努める

#### 2007年度以降のCO<sub>2</sub>排出係数推移

| 年度                    | 2007  | 2008  | 2009  | 2010  | 2011  | 2012  | 2013  | 2014  | 2015  | 2016  |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 工<br>出<br>係<br>数<br>ト | 0.427 | 0.436 | 0.429 | 0.409 | 0.408 | 0.427 | 0.443 | 0.462 | 0.441 | 0.441 |

※太陽光発電の余剰買取制度及び再生可能エネルギーの固定価格買取制度による環境価値の電気事業者間調整を反映した後の数値。  
「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき算定した2016年度の実排出係数は、0.405kg・CO<sub>2</sub>/kWh。

#### 地球温暖化対策の取り組み方針

##### 電源調達等に係る取り組み方針

- ・高効率LNG(液化天然ガス)発電からの、よりクリーンな電源の調達を積極的に行ってまいります。
- ・太陽光発電、風力発電や清掃工場のバイオマス発電、小水力発電等による電力の調達を引き続き行います。
- ・お客さまの省エネニーズにお応えするエネルギーの「見える化」を行うとともに、お客さまの地球温暖化対策に貢献します。

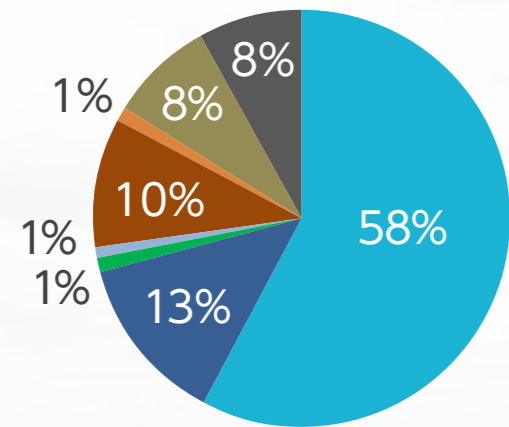
#### 地球温暖化対策等の推進体制

- 自主行動計画のとりまとめや対外折衝を行う企画部門が中心となり、電源調達を行う営業部門や電源運用を行うオペレーション部門と連携して、地球温暖化抑制に資する事業の計画・推進を行っています。

## エネットの電源構成

電力供給においては、株主のLNG（液化天然ガス）発電所や、自社の発電所に加え、工場などの自家発電機を中心に活用しています。また、環境配慮型の電源も活用することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献しています。

◎当社の電源構成（2016/4/1－2017/3/31）



- LNG火力
- FIT電気
- 再生可能エネルギー
- 水力
- 石炭火力
- 石油火力
- 卸電力取引所
- その他

- ※1 当社がこの電気を調達する費用の一部は、当社のお客さま以外の方も含め、電気をご利用のすべての皆さまから集めた賦課金により賄われており、火力発電なども含めた集めた全国平均の電気のCO<sub>2</sub>排出量を持った電気として扱われます。
- ※2 この電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。
- ※3 旧一般電気事業者からのインバランス（補給）供給を受けた電気と他社から調達している電気の一部で発電所が特定できないものについては、「その他」の扱いとしています。
- ※ 旧一般電気事業者の不特定の発電所から継続的に卸売を受けている電気（常時バックアップ）については、各社の2016年度の電源構成に基づき仕分けています。
- ※ 当社の2016年度のCO<sub>2</sub>排出係数（調整後排出係数）は以下の通りです。

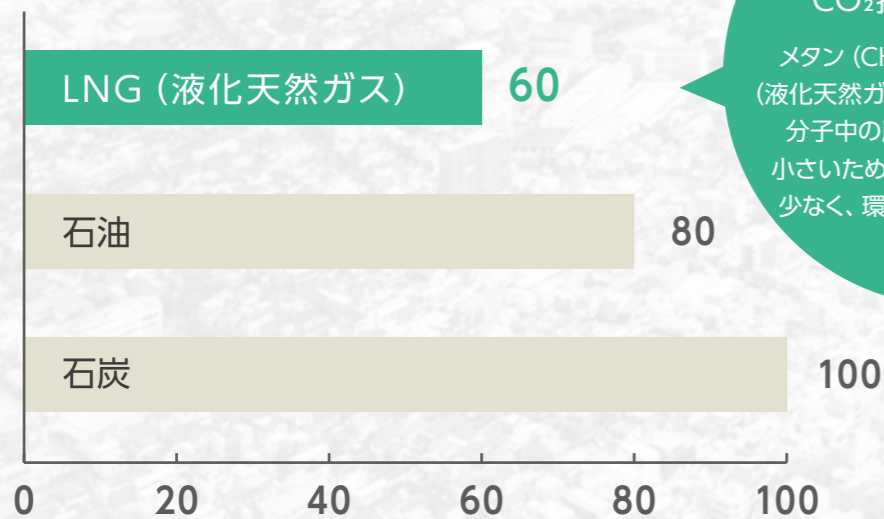
|            |       |
|------------|-------|
| メニューA      | 0.000 |
| メニューB      | 0.350 |
| メニューC      | 0.441 |
| 事業者全体（参考値） | 0.441 |

※単位：kg-CO<sub>2</sub>/kWh

### LNG（液化天然ガス）発電所によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

環境負荷の低い最新鋭高効率のLNG（液化天然ガス）発電所の運転により、日本全体としてのCO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献しています。

◎石炭を100とした場合のCO<sub>2</sub>排出量比較（燃焼時）



出典：資源エネルギー庁「エネルギー白書2010」

LNG（液化天然ガス）は、CO<sub>2</sub>排出量が少ない！

メタン（CH<sub>4</sub>）を主成分とするLNG（液化天然ガス）は、石油や石炭に比べ、分子中の炭素原子（C）の割合が小さいため、燃焼時のCO<sub>2</sub>排出量が少なく、環境貢献に適しています。

お客さまに電気を供給している発電所は全国にひろがっています。環境負荷の低いLNG（液化天然ガス）発電所を中心に全国200箇所以上の電源を活用しています。

## 全国200箇所以上の電源活用



## お客さまへのスマートサービス

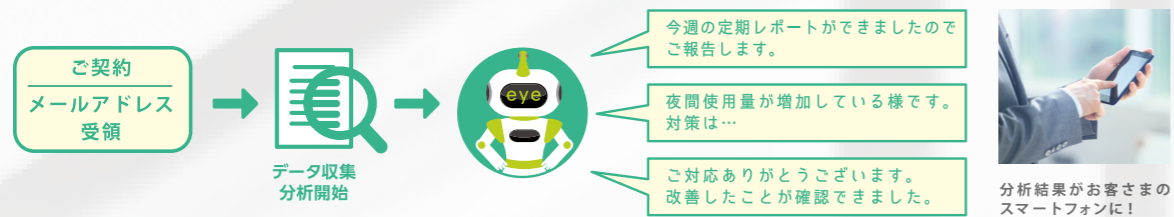
エネットは多様なサービスメニューのご提供を通じて、お客さまのCO<sub>2</sub>削減や利便性向上を支援いたします。環境負荷の低減に向けて、エネットとお客さまが協調してCO<sub>2</sub>削減に取り組むことで、未来の低炭素社会の実現をめざします。

低炭素社会の実現をめざして、新たな料金・サービスメニューの開発に取り組んでいます

AIがお客さまの電気の使い方を解析し、省エネ対策をタイムリーに発信

### 新エネルギーソリューションサービス Ennet eye (エネットアイ)

Ennet eyeは30分ごとの電気使用量・気象情報・料金情報など様々なデータをAIが解析し、店舗やビルの実態にあった省エネ対策をタイムリーに配信します。



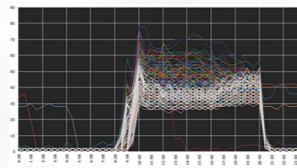
データ統合/見える化

モデリング/比較分析

定期報告/省エネアドバイス



電力データの取得は既に設置されているスマートメーターを活用する為、新たな設備投資は必要なくすぐに利用開始可能。電気使用状況はPC/スマートフォン等で確認できます。



Ennet eyeは取得した気象情報と電力データに基づき、お客さま施設の解析・比較分析を実施します。過去の運用や同一用途施設との比較、外気温や湿度等の相関分析などから施設ごとの課題を抽出します。



省エネの進捗状況は日々・毎週の定期レポートでご確認いただけます。問題が再発した場合は再度AIよりご連絡することで、継続的な電気料金の低減をサポートいたします。

## お客さまの電気の使い方が見える化

### 特別高圧・高圧施設向け見える化サービス いんぷお・エネット

「いんぷお・エネット」の主な機能

**見える化①「電気使用量、電気料金の表示」**  
電気使用量や料金請求情報をグラフ・表で表示し、データのダウンロードもできます。複数施設をご契約のお客さまは、まとめ表示等も可能です。

**見える化②「お知らせ機能」**  
お客さまの設定したしきい値を超過した場合、ご指定のメール・FAX に通知します。

**見える化③「比較機能」**

過去年度、ご契約中の他施設との比較など、様々な検証が可能になります。

**見える化④「スマートフォン対応」**

スマートフォンにも対応。専用画面をご用意しており、いつでもご使用状況を確認できます。



## お客さまとエネットが協調して「賢い節電」を支援

### 特別高圧・高圧向けデマンドレスポンスサービス EnneSmart (エネスマート)

さまざまな料金メニューでお客さまの「賢い節電」をご支援いたします。

**EnneSmart レスポンス**

節電要請時に、積極的かつ確実にご協力いただけるお客さま向け

**EnneSmart レスポンス Light**

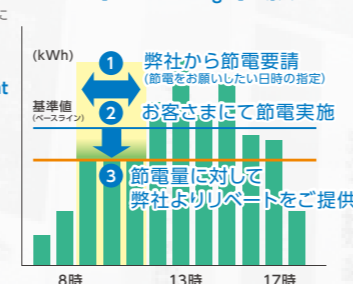
節電要請時に、可能な時だけご協力いただけるお客さま向け

**Auto レスポンス\***

節電要請時に、BEMSを用いて設備の最適制御を自動で行うサービスです。

\*お客さまを限定したトライアルです。

「レスポンス」「レスポンス Light」の導入イメージ



## 低炭素社会の実現に向けた取り組み

低炭素社会を実現するためには、省エネと太陽光・風力・バイオマスといった再生可能エネルギーの導入をうまく組み合わせることが必要です。エネットではお客さまとともに省エネを実現する取り組みを推進するほか、グリーン電力証書の発行を通じた再生可能エネルギーの普及促進をしています。

### ■ お客さまとともに省エネを実現する取り組み

#### EnneSmart Auto レスポンス

日本初となる自動負荷制御型デマンドレスポンスサービス「Autoレスポンス」の提供を2013年8月より試行的に開始しました。エネットの需給逼迫時にBEMSを活用して自動でお客さま設備の最適制御を実施するサービスです。確実にかつお客さま負担の少ない節電を実現します。

※現在サービスの提供を終了しています

#### 節電おでかけ情報の配信

NTTファシリティーズと共同で提供するマンション向けデマンドレスポンスサービス「EnneVision」の節電ポイントサービスにおいて、電力需給逼迫時にお客さまへの節電を依頼する際、おトクなクーポン「節電おでかけ情報」を2013年7月より試行配信しました。配信されるクーポンを利用することで楽しく節電に取り組むことができます。

※現在サービスの提供を終了しています

#### Smart Saving Power

大阪ガスと共同でガスコージェネレーションシステムを用いたデマンドレスポンスサービス「Smart Saving Power」の提供を2012年5月より開始しました。本取り組みでは、2012年9月末までの4ヶ月間に、115MWh(発電所送電端換算値、一般家庭約100軒で使用する電気の4ヶ月分)の節電を実現いたしました。

### 先進的な取り組みが評価され、平成24年度省エネ大賞を受賞しました

#### ▼ EnneVision



エネットの先進的な取り組みが評価され、平成24年度省エネ大賞において『マンション入居者向けデマンドレスポンスサービス EnneVision(NTT ファシリティーズとの共同提供サービス)』が省エネ大賞 経済産業大臣賞を、『コージェネレーションを活用したデマンドレスポンス Smart Saving Power(大阪ガスとの共同提供サービス)』が省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。

※現在サービスの提供を終了しています

平成24年度 省エネ大賞  
経済産業大臣賞 受賞  
省エネルギーセンター会長賞 受賞



製品・ビジネスモデル部門  
主催：一般財団法人省エネルギーセンター

### ■ グリーン電力証書発行を通じた再生可能エネルギーの普及促進

再生可能エネルギーが持つ“環境付加価値”の部分を取り出して、この価値を証明し、再生可能エネルギーの普及拡大に貢献するものがグリーン電力証書です。グリーン電力証書を購入されたお客さまは、環境に優しい事業者として、会社案内や環境報告書、CSRレポートなどを通じ、企業イメージの向上にご活用いただくことができます。

◆ グリーン電力発電電力量認証実績 (2018年3月現在)

47,621,200 累計認証電力量 (kWh)

#### グリーン電力証書\*



\*エネットが第三者機関(グリーンエネルギー認証センター)の認証を得て発行するものです。

- 環境報告書の内容に関するご意見、お問合せ

 0120-2233-79

- 最新情報はWebサイトでご覧いただけます

<http://www.ennet.co.jp/>

エネット

検索

※環境報告書の対象期間：2016年4月1日～2017年3月31日

※発行月：2018年3月